



文武両輪

～勉強も行事も部活動も～

令和5年 5月31日

【文責】校長 蔦川 誠

思いを形にすること！

5月11日(木)に2年生が、盛岡市へ校外学習(自主研修)に行ってきました。その中で心温まる出来事をご紹介します。すでに、学校のブログや2学年通信で御存じの方も多いかと思えます。

自主研修中の盛岡市内循環バス「でんでんむし号」の車内で、2年生のある生徒が30代ぐらいの女性が持ち物に「ヘルプカード」を付けていたのを見て、席を譲ったそうです。同乗していた他の生徒も席を譲ろうとしてくれたようです。席を譲られた女性は、メモ用紙に感謝の気持ちを書いて、その生徒に渡しました。

私はこの出来事を聴いて、席を譲った生徒や譲ろうとした生徒たちの行為に感動しました。それは、人は頭の中で他人に親切にしたい優しくしたいと思っても、それを実行することはなかなか難しいからです。「もしも断られたらイヤだな」、「周りからどんなふうに思われるだろうか」など、様々な思いが浮かんできて実行できないことが多いものです。「思いを形にすること」は意外と難しいものです。

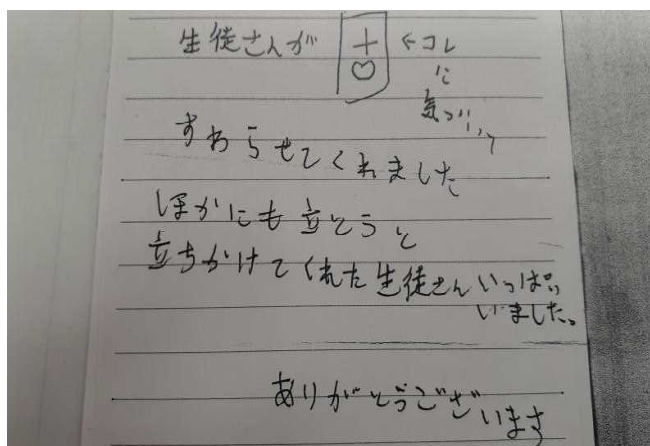
しかし、今回はそんな思いを軽々と超えて、優しさを行動に表した生徒たちに深く感心しました。

同じ時期に実施していた修学旅行中も、車いすで移動していた生徒のことを思いやって、歩道や駅の段差やエレベーターのところで車いすを押してくれたり持ち上げてくれたりしていた、3年生の生徒たちが何人もいました。その生徒たちは、ごく自然に手助けしていました。その姿もとても素晴らしいものでした。長者中の生徒は、心の優しい友だち思いの生徒です。これは、長者中の誇れるよさだと思えます。

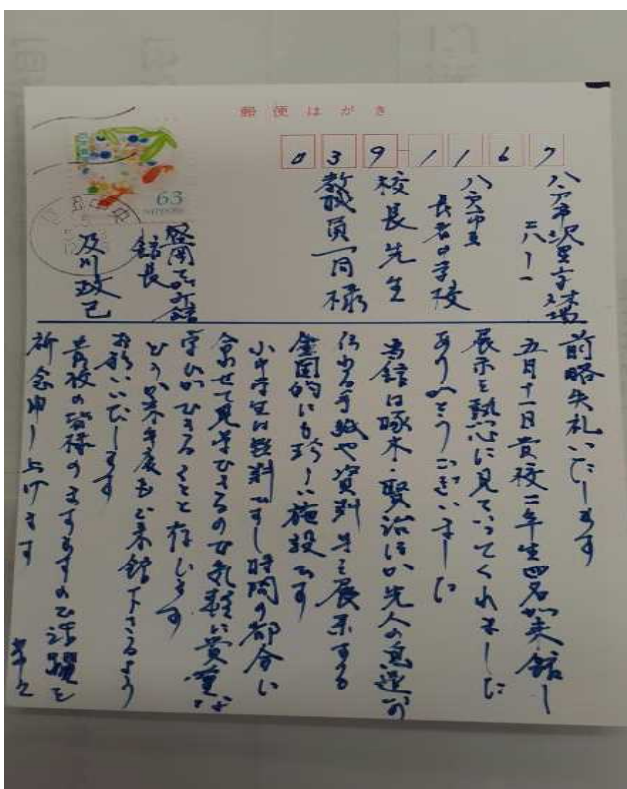
さらに盛岡自主研修では、うれしい出来事がありました。私宛に、盛岡てがみ館の館長さんから一通のはがきが届きました。はがき館を訪れた2年生4名の鑑賞態度がとても熱心だった、と感謝する内容でした。館長さん自ら手書きのはがきを送ってくださるということは、めったにありません。4名の鑑賞態度がとても熱心で、すばらしかったということを示しています。

校外学習や修学旅行では、本校生徒のよさが表れ、とてもうれしく思いました。

◇ 席を譲られた女性からのメモ用紙



◇ 盛岡てがみ館の館長さんからはがき



◇ ヘルプカード

＝障がいなどのある人が、困った時に周囲に配慮や手助けをお願いしやすくするための情報を伝えるためのカード

